

「京都市グリーンボンド」への投資について

巖本金属株式会社（代表取締役：巖本 博、以下「当社」）は、このたび、京都市が発行するグリーンボンド（京都市令和7年度グリーンボンド5年公募公債、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

グリーンボンドとは、調達資金の用途が、環境改善効果等を有するグリーンプロジェクトに充てられる債権です。本債権におけるフレームワークは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン 2024年度版」との適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）からセカンドオピニオンを取得しており、最上位の評価「Green1（F）」を受けています。

本債権発行による調達資金は、京都市が取り組む、環境改善効果のある下表のグリーンプロジェクトに充当される予定です。

	対象事業	想定される環境改善効果
1	省エネ改修事業（施設のLED化等）	エネルギー使用量削減によるCO <sub>2</sub> 排出量削減
2	環境性能に優れた市有施設の整備事業	再生可能エネルギー導入量の増加など
3	河川整備事業	浸水被害の防止など、気候変動への適応

当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、本債券を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド等のESG<sup>(1)</sup>領域への投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債権の概要>

銘柄	京都市令和7年度グリーンボンド5年公募公債
年限	5年
発行額	20億円
発行日	2026年2月20日

(1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉  
「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと